



北海道の農業は家族経営を中心に支えられており、その中において女性農業者は農業生産・販売・加工に至る様々な場面で力を発揮されており、農業経営において欠かすことのできない存在です。

JAグループとしても女性のJA運営参画に向けて、女性農業者の正組合員比率の向上や役員登用などステップアップで取り組みを進めており、徐々に増加しつつあります。

本会としても女性農業者の活躍支援に向け、より一層のサポートをしてまいります。

北海道農業協同組合中央会
代表理事会長 梅井 功

北海道内には、営農指導・信用・共済・販売・購買など複数の事業を通じて組合員や地域住民にサービスを提供している総合農協が97組織あります。

また、JAで実施している事業を専門的に実施している連合会（信用事業＝JA北海道信連、経済・購買事業＝ホクレン、厚生事業＝JA北海道厚生連、共済事業＝JA共済連北海道）もあります。

JAにはJAをよりどころに食や農、くらしに関心のある女性農業者を中心とする組織があり、各地域において食農教育や地産地消への取り組み、こども食堂への支援、環境保護活動などを展開し、住みよい地域社会づくりを目指しております。

全国のJA女性組織3カ年計画「JA女性 想いを一つに かなえよう✪」に基づき、アフターコロナにおいて、改めて「対面」での組織活動やSDGsの達成への貢献も意識した活動を行っており、本会としても緊密に連携しつつ、活動を支援してまいります。

北海道農業協同組合中央会（JA北海道中央会）について

北海道内のJAおよび連合会を会員とし、会員の健全な発達を図ることを目的として設立され、農協法に基づく農業協同組合連合会として位置づけられている団体です。

私たちは北海道農業の未来を豊かにするため、「農業政策の立案・折衝」、「JAの経営相談」、「消費者の皆さんへの情報発信」、「農業の担い手の確保・育成支援」など、常に「農業者のために」を第一に、JAグループ北海道の一員として一人ひとりが全力で業務に取り組んでいます。